

<同時開催>

ちひろ 旅のたのしみ



1 茂田井武 アクロバット 1932-33年頃

没後70年

茂田井武とパリの画家たち

—Parisの破片—

2026年10月30日(金)～2027年1月31日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室1・2

「汽車が巴里から遠ざかると共に
記憶の中にそれが澁^{はつらつ}と生きはじめた」

茂田井武 画帳「Parisの破片」より 1935年頃



2 茂田井武 画帳「Parisの破片」より 1930-35年頃

第二次世界大戦後、子どもの本で活躍した画家・茂田井武(1908-1956)。友人から「ボヘミアン」と呼ばれた茂田井の絵には純粋な魂が息づき、忘れかけていた懐かしい感覚を呼び覚まします。

1930年、21歳の茂田井は、単身パリへ渡ります。日中は給仕などをして働き、寝泊まりする安アパートに戻ると、記憶をもとにした絵を夜ごと画帳に描きためていきました。3年に渡る欧州放浪の旅で目にした各地の光景は、茂田井の心に深く刻まれ、その後も繰り返し画題となりました。

没後70年を記念した本展では、欧州滞在中の画帳「ton paris」「Parisの破片」「続・白い十字架」を中心に、パブロ・ピカソやモーリス・ユトリロ、マリー・ローランサン、藤田嗣治、板倉鼎ら当時のパリで活躍した画家たちの作品もあわせて紹介します。さらに、帰国後に制作された画帳やタブロー、絵本、エッセイなども展示し、茂田井の創作を支え続けた大切な旅の記憶を浮かび上がらせます。

茂田井武 Takeshi Motai 1908～1956

東京に生まれる。日本橋の旅館であった生家が1923年関東大震災で全焼する。中学卒業後、太平洋画会研究所、川端画学校などで絵を学び、アテネ・フランスに通う。1930年シベリア鉄道で渡仏、1933年に帰国。職を転々とした後、探偵小説雑誌「新青年」などに挿し絵を描き、1941年から絵本を手がける。1946年日本童画会入会。戦後日本の復興期に絵本、絵雑誌などの仕事で活躍する。1954年小学館絵画賞受賞。48歳で亡くなるまで、病床で絵を描き続けた。主な絵本に『セロひきのゴージュ』(1956)などがある。



主催：ちひろ美術館

協力：茂田井泉、大川美術館

講談社、JULA出版局、トムズボックス、ミュゼ・モタイ

後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際
児童図書評議会、日本児童図書出版協会、杉並区教育委員会、
西東京市教育委員会、練馬区

・前期・後期で一部作品の入れ替えを行います。
・大川美術館所蔵作品以外は、すべてちひろ美術館蔵。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

展覧会の見どころ

渡欧時の 3 冊の画帳を一堂に 「ton paris」 「Paris の破片」 「続・白い十字架」

1930 年代のパリの街並みを瑞々しく描いた「ton paris」、異国の地での人間関係や私生活のようすが窺える「Paris の破片」、そしてスイス・ジュネーブ滞在の日々を描いた「続・白い十字架」。茂田井が欧州滞在中に描いた画帳のうち、現存する 3 冊を一堂に展示します。



3 茂田井武 画帳「ton paris」より
1930-33年(大川美術館蔵)



4 茂田井武 画帳「Parisの破片」より
1930-35年頃



5 茂田井武 画帳「続・白い十字架」より
1931-35年



6 マリー・ローランサン ブリジット・スールデルの肖像
1923年頃

1920-30 年代に パリに集った画家たち

ふたつの大戦に挟まれた 1920 年代から 1930 年代にかけて、芸術の都・パリには多くの画家が集いました。本展では、マリー・ローランサンやパブロ・ピカソ、モーリス・ユトリロ、板倉鼎ら、茂田井と同時代にパリで活躍した画家たちの作品も紹介します。



7 モーリス・ユトリロ モンマルトル
1930年頃(大川美術館蔵)



8 板倉鼎 少女
1927年(大川美術館蔵)

展覧会の見どころ

欧州放浪の記憶

欧州を放浪した経験は、茂田井にとって貴重なイメージの源泉となり続けました。本展では、帰国後、旅の記憶を反芻するように制作された『古い旅の絵本』のほか、タブローや、エッセイなどを展示します。



9 茂田井武
デバルカデール町より見たルナパーク
1950年前後



10 茂田井武 『古い旅の絵本』より
1943-44年



11 茂田井武 手づくり絵本『巴里の子供』より
1946年



12 茂田井武 おめでとう 1956年



13 茂田井武 すてんどぐらす 1954年



14 茂田井武 『古い旅の絵本』より 1943-44年

世界の子どもたちへ

三人の子の父親だった茂田井は、戦後の混乱のなか、児童雑誌や絵本の制作に力を注ぎました。そこには、世界の子どもたちと地球全体のしあわせを願った茂田井の切実な思いが込められています。本展では、茂田井が幼い長女のために手づくりした絵本『巴里の子供』のほか、晩年に病をおして取り組んだ、絵雑誌「キンダーブック」の仕事に注目します。

出展作品数 茂田井武作品 約 100 点 パリの画家たちの作品 約 10 点

図版について 本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙／誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 原島・北村・宗像

〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2

TEL.03-3995-0772 (業務用) FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612 (代表)

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

<同時開催>

没後70年

茂田井武とパリの画家たち

—Parisの破片—

ちひろ 旅のたのしみ

2026年10月30日(金)～2027年1月31日(日)

ちひろ美術館・東京 展示室3・4

主催：ちひろ美術館

よ 美
い 術
旅 館
を で
。 、

旅は、いわさきちひろにとって欠かせない楽しみでした。両親の郷里である信州で休暇を過ごしたり、女学校の学友たちと登山に行ったりと、幼いときから旅に親しんでいたちひろは、画業と主婦業で忙しいなかでも、時間を見つけては旅に出ました。

いつも携えていたスケッチブックには、美しい景色や、慌ただしい生活を離れゆっくり向き合った家族の姿など、旅先での感動が記されています。アルバムには、撮った場所や日付が、ちひろ自身の字で細やかに書き添えられた写真も遺されています。

国内各地やヨーロッパの旅のスケッチや写真とともに、絵本『あかいふうせん』など旅の実感をもって描かれた作品を紹介し、ちひろの旅の思い出をひもときます。



15 いわさきちひろ 秋草のなかの少女 1969年



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

展覧会の見どころ

スケッチで楽しむ日本の秋と冬

風にそよぐすすき、鮮やかな柿の実、木枯らしに舞う葉、雪景色……。秋から冬にかけて、野山は豊かな表情を見せます。ちひろがとらえた季節の移ろいを、展示室にお届けします。



16 いわさきちひろ 白骨温泉 1969年11月9日



17 いわさきちひろ 湯ヶ島 旅館での息子・猛 1963年1月25日



18 いわさきちひろ 小谷温泉 鎌池の釣り人 1965年8月29日



19 いわさきちひろ スキーをする少年 1969年

信州探訪—ちひろの心のふるさと

ちひろは信州を「心のふるさと」とよび、折に触れて足を運んでいました。スキー旅行や温泉旅行といった、山国ならではの旅の記録も多くあります。ちひろの信州での過ごし方や、作品に詰まった信州の魅力を紹介します。

憧れのヨーロッパを訪ねて

1966年、ちひろは約1ヵ月をかけて、童話作家アンデルセンの故郷オーデンセをはじめパリ、ローマなどヨーロッパの都市を巡りました。200点にのぼるスケッチが現存するこの旅は、制作活動の大きな刺激となりました。パリの風情に満ちた絵本『あかいふうせん』（偕成社、1968年）を中心に、帰国後の作品もピエゾグラフで展示します。



20 いわさきちひろ ローマ 猫のいる遺跡 1966年4月23日



21 いわさきちひろ 街いっぱい風船とバスカル『あかいふうせん』（偕成社）より 1968年

出展作品数 約50点と写真・資料 ※展示室4では、ピエゾグラフによる展示を行います。

図版について 本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙／誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 原島・北村・宗像

〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2

TEL.03-3995-0772（業務用）FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612（代表）

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

展覧会関連イベント

○学芸員によるスライドトーク

日時：11月22日（日）14：00～15：00

参加費：無料（入館料別）／定員：30名

申し込み：要事前予約（10/22より公式サイト、TELにて）

展示担当の学芸員が、スライドを用いてわかりやすくお話しします。

○松本猛ギャラリートーク

日時：11月29日（日）14：00～15：00

参加費：無料（入館料別）／申し込み：不要

いわさきちひろのひとり息子・松本猛によるギャラリートーク。展示作品を見ながら、母・ちひろとの思い出や展示の見どころなどをお話しします。

「ちひろ 旅のたのしみ」関連企画

ちひろの水彩技法体験

○にじみの絵はがきをつくろう

日時：1月5日（火）、6日（水）10：30～15：30

参加費：500円（入館料別）

対象：5歳以上／定員：各日50名（先着順）

申し込み：当日10時より受付

いわさきちひろが得意としていた水彩技法の「にじみ」を体験し、世界に1枚の絵はがきをつくりま



「茂田井武とパリの画家たち」関連企画

○高橋明也講演会

「茂田井武と両大戦間のパリ」

日時：2027年1月9日（土）14：00～15：30

講師：高橋明也（東京都美術館館長）

参加費：会場1000円（入館料別） オンライン700円

定員：会場40名 オンライン100名

申し込み：要事前予約（12/9より公式サイト、TELにて）

1920年代から30年代にかけてのパリは、世界各地から芸術家たちが集い、芸術の中心地として活況を呈していました。フランス近代美術を専門とする高橋明也さんに、茂田井武が渡った時代のパリについてお話をうかがいます。

○ギャラリートーク

日時：第1・3土曜日 14：00～14：30

参加費：無料（入館料別）／申し込み：不要

展覧会の見どころや展示作品について担当学芸員が解説します。

会期中のイベント

「いい育児の日 11月19日」関連イベント

○出張 子育てのひろば

日時：11月19日（木）10：00～15：00

参加費：無料（入館料別）／申し込み：不要

*詳細は、公式サイトをご覧ください。

経験豊富な保育の専門スタッフがお待ちしています。子育ての相談をしたり、親子で遊んだり、保護者同士の交流の場にもなっています。ぜひご自由に

お楽しみください。

いわさきちひろ
遊ぶ子どもとあかちゃん
1967年

○障がいのある方のための特別鑑賞日

日時：11月16日（月）10：30～15：30

参加費：無料

（入館料別 ※ 18歳以下の方、障害者手帳をご提示の方とその介添えの方1名は無料）

対象：障がいのある方とその介助者、通常の来館に不安を感じている方

申し込み：要事前予約

（10/16より公式サイト、TELにて）

障がいのある方や来館に不安のある方が安心して鑑賞できるように、休館日に開催する鑑賞日です。詳細は公式サイトをご覧ください。

○わらべうたあそび

日時：12月5日（土）11：00～11：40

講師：服部雅子

（西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰）

参加費：500円（入館料別）

対象：0～2歳児と保護者

定員：10組20名

申し込み：要事前予約（11/5より公式サイト、TELにて）

リズムにあわせて体を動かしたり、声を出して歌ったり。物語への入り口となる「わらべうた」を親子で楽しみましょう。

○ファーストミュージアムデー
あかちゃんと美術館に行こう！

日時：11月19日（木）

① 10：30～11：15

② 13：30～14：15

参加費：無料（入館料別）

対象：0～3歳児と保護者

定員：各回5組10名

申し込み：要事前予約

（10/19より公式サイト、TELにて）

あかちゃんといっしょに、展覧会や館内を親子で楽しみましょう。

協力：NPO 法人手をつなご

○ちひろの誕生日

誕生日当日の12月15日（火）は、ご来館のみなさまに、ちひろのこたばカード（非売品）をプレゼントします。

○成人の日特典

2027年1月3日（日）～1月11日（月・祝）まで、新成人の方は無料でご入館いただけます。

○絵本のじかん

日時：第2・4土曜日

11：00～11：30

参加費：無料（入館料別）

申し込み：不要

協力：NCBN

（ねりま子どもと本ネットワーク）

季節や展示にあわせ、毎回テーマにした絵本の読み聞かせを行います。あかちゃんから大人まで、どなたでもご参加いただけます。

展覧会基本情報

展覧会名	没後70年 茂田井武とパリの画家たち —Parisの破片—／ちひろ 旅のたのしみ
会期	2026年10月30日（金）～2027年1月31日（日） ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10：00～17：00（入館は閉館の30分前まで） ○休館日＝月曜日（祝休日は開館、翌平日休館）、年末年始（12月28日～2027年1月2日）
入館料	大人1200円／高校生・18歳以下無料／団体（有料入館者10名以上）、65歳以上、学生の方は900円／障害者手帳ご提示の方とその介添えの方（1名）は無料／年間パスポート3000円
交通	○電車の場合＝西武新宿線上井草駅下車徒歩7分 ○バスの場合＝JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き（荻14）上井草駅入口下車徒歩5分／西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き（荻14）上井草駅入口下車徒歩5分
	〒177-0045 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL03-3995-0612

※開館情報、会期、展示名、イベント内容などは予告なく変更する可能性があります。ご来館の際には、必ず最新情報をご確認くださいようお願いいたします。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京 chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 原島・北村・宗像

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2

TEL.03-3995-0772（業務用）FAX 03-3995-0680

TEL.03-3995-0612（代表）

E-mail：publicity@chihiro.or.jp